

問1 「明軍と倭寇の戦い」が描かれた資料と、「紫式部による国風文化」が描かれた資料を比較したとき、それぞれの時代背景を説明した組み合わせとして正しいものはどれか。（2021年 北海道公立入試 類似）

1. 室町時代と平安時代 2. 鎌倉時代と平安時代 3. 室町時代と奈良時代 4. 江戸時代と鎌倉時代

問2 室町時代、第3代将軍の足利義満が明（みん）との間で始めた正式な貿易において、当時活動していた海賊である倭寇（わこう）と、幕府が認めた正式な貿易船を明確に区別するために使用された、二枚一組の割符（札）を何と呼びますか。（2018年 愛媛公立入試 類似）

1. 勘合 2. 朱印状 3. 日宋貿易証 4. 御朱印

問3 15世紀の東アジアにおいて、琉球王国は日本、中国（明）、朝鮮半島、東南アジアの国々を繋ぐ役割を担い繁栄しました。当時の琉球王国が中国（明）などへの朝貢貿易において輸出した、火山活動によって得られる特産品はどれですか。（2024年 沖縄公立入試 類似）

1. 硫黄 2. 象牙 3. 武具 4. 陶磁器

問4 室町時代、農業生産力の向上や民衆の成長を背景として、農民たちが自律的に「村の政治」を行う組織が各地で形成されました。この組織が行った自治活動について、最も適切な説明を選んでください。（2023年 秋田県公立入試 類似）

1. 「寄合」という会議を開いて村の運営を話し合い、「掟」と呼ばれる独自のルールを定めて村の秩序を維持した。
2. 公家や寺社に税を納める見返りとして、商品の独占販売権を持つ「座」という組合を結成し、商業の発展に寄与した。
3. 江戸幕府から営業の独占を認められた「株仲間」として、新規参入を防ぎながら商品の流通を支配した。
4. 有力な武士の指導のもとで、灌漑施設の管理や年貢の取りまとめをすべて領主の命令通りに実行した。

問5 室町時代に発達した、墨一色の濃淡で自然の風景などを表現する絵画の技法と、その技法を用いて「秋冬山水図」などの作品を残し、日本の芸術に大きな影響を与えた人物の組み合わせとして正しいものはどれですか。（2015年 長崎県公立入試 類似）

1. 水墨画 - 雪舟 2. 大和絵 - 紀貫之 3. 浮世絵 - 近松門左衛門 4. 唐三彩 - 鑑真

問6 鎌倉幕府が滅亡した後、後醍醐天皇が始めた新しい政治について、その混乱ぶりを「此頃（このごろ）都に流行（はや）るもの、夜討（ようち）、強盗、偽（にせ）の繪旨（りんじ）」などと七五調の形式で厳しく風刺し、京都の河原に立てられた史料を何といいますか。（2021年 和歌山公立入試 類似）

1. 二条河原の落書 2. 御伽草子 3. 平家物語 4. 徒然草

問7 室町幕府の政治体制において、足利義満が京都の室町に御所を構え、南北朝の統一を成し遂げた時期に、将軍の補佐役として政務を統括した役職の名称を選びなさい。（2021年 鹿児島県公立入試 類似）

1. 管領 2. 執権 3. 老中 4. 関白

問8 1333年に足利尊氏や新田義貞らの協力によって鎌倉幕府が滅亡した後、後醍醐天皇が「公家も武士もない、天皇中心の政治」を目指して始めた新しい政治体制を何と呼びますか。（2023年 香川公立入試 類似）

1. 院政 2. 建武の新政 3. 大政奉還 4. 明治維新

問9 室町時代の農村の様子や自治組織について説明した文として、最も適切なものはどれか。（2023年 大阪公立入試 類似）

1. 農民たちは自衛のために武装し、寄合での決定に基づいて団結して行動した。
2. 幕府が任命した地頭が、寄合を主宰して村の掟を作成させた。
3. 商工業者が結成した「座」が、農村における年貢の徴収業務を独占した。
4. 自治の進展により、農民たちは「能」などの伝統芸能に関わることを禁じられた。

問10 1428年に近江の馬借の蜂起から始まった「正長の土一揆」において、農民たちが土倉や酒屋を襲撃した主な目的と、その際に掲げた要求として正しい説明はどれですか。（2020年 島根公立入試 類似）

1. 特権的な商工業者の団体である「座」を解散させ、自由な取引を行うことを求めた。
2. 凶作や重税に苦しむ状況下で、借金の帳消しを意味する「徳政」の実施を求めた。
3. 幕府から営業の独占権を得るため、自分たちを「株仲間」として認めるよう求めた。
4. 年貢を銭で納める「代銭納」を拒否し、現物の米で納める権利の復活を求めた。

答え合わせ・解説

問1	答え 1 室町時代と平安時代	勘合貿易を行い倭寇の取り締まりを行ったのは室町時代の幕府の役割である。一方、紫式部の執筆活動や国風文化の隆盛は、摂関政治が行われていた平安時代の文化的な特徴である。
問2	答え 1 勘合	室町幕府の全盛期を築いた足利義満は、明の皇帝から「日本国王」の称号を得て、正式な国交を結びました。当時、東シナ海などでは「倭寇」と呼ばれる海賊が略奪行為を行っており、明側はこれに強く抗議していました。そこで、正式な貿易船であることを証明するために、漢字の半分が書かれた「勘合（勘合符）」という割符を、明側が持っている控えと照らし合わせる方式が採用されました。この仕組みを用いた貿易であるため、勘合貿易と呼ばれます。
問3	答え 1 硫黄	琉球王国は、琉球列島の火山活動によって得られる硫黄を、中国（明）への重要な朝貢品として輸出していました。硫黄は火薬の原料となるため、当時の東アジアにおいて軍事的に極めて需要の高い戦略物資でした。一方、象牙は東南アジアからの輸入品であり、陶磁器は中国からの輸入品として、琉球による中継貿易で扱われていました。
問4	答え 1 「寄合」という会議を開いて村の運営を話し合い、「掟」と呼ばれる独自のルールを定めて村の秩序を維持した。	室町時代になると、農民たちは「惣村」と呼ばれる自治組織を形成しました。惣村では、村民による会議である「寄合」が開かれ、村独自の決まりである「掟（惣掟）」が定められました。これにより、山林（入会地）の管理や祭礼の運営、さらには警察権の一部を行使するなど、領主から自立した村の政治が行われるようになりました。選択肢にある「座」は中世の商工業者の団体、「株仲間」は江戸時代の商人の団体を指すため、惣村の活動とは異なります。
問5	答え 1 水墨画 - 雪舟	室町時代には、禅宗の影響を受けて墨の濃淡のみで表現する水墨画が好まれました。雪舟は明に渡って本格的な技法を学び、日本の水墨画を大成させた人物として知られています。紀貫之は平安時代の歌人、近松門左衛門は江戸時代の人形浄瑠璃の作者、鑑真は奈良時代に仏教を伝えた僧侶であり、時代や分野が異なります。
問6	答え 1 二条河原の落書	後醍醐天皇による建武の新政が、武士の慣習を無視したものであったために社会が混乱し、人々の不満が高まったことを背景に書かれました。当時の京都の世相を鮮やかに伝える歴史的資料として知られています。
問7	答え 1 管領	室町幕府において将軍に次ぐ最高職であり、将軍の補佐役として幕政を統括したのが管領です。足利氏の一門である細川氏、斯波氏、畠山氏の有力な守護大名が交代で任命される仕組みとなっていました。鎌倉幕府の執権や江戸幕府の老中と、それぞれの時代の中心的な役職を区別することが重要です。
問8	答え 2 建武の新政	鎌倉幕府を倒した後に始まったこの政治は、天皇が自ら政治を行う「親政」を理想としていました。しかし、これまでの武家社会の慣習を無視した急進的な改革だったため、混乱を招くことになりました。
問9	答え 1 農民たちは自衛のために武装し、寄合での決定に基づいて団結して行動した。	室町時代の惣村では、農民が自立して村を管理したため、自分たちの権利を守るために武装して土一揆（つちいっき）を起こすこともありました。この時期には、観阿弥・世阿弥による「能」が完成されるなど、文化が民衆の間にも広まりを見せていました。幕府や地頭が主導して寄合や掟が作られたわけではなく、農民による自律的な動きであった点が重要です。
問10	答え 2 凶作や重税に苦しむ状況下で、借金の帳消しを意味する「徳政」の実施を求めた。	室町時代中期になると、貨幣経済の浸透により農民の生活は苦しくなり、土倉や酒屋から多額の借金をする者が増えました。1428年の正長の土一揆では、農民たちが「徳政」を叫び、借金の証文を破棄したり質物を取り戻したりしました。この動きは、幕府に債務免除の命令（徳政令）を出させることを目的としたものでした。